Safety 確かな安全性能で、大切な家族を守る。

予防安全性能アセスメントの評価で、先進安全車(ASV)を獲得!(e-Assist付車)

『eKスペース(e-Assist付車)』が、衝突を避けられない場合に自動でブレーキをかける技術などの先進安全技術を搭載した自動車の安全性能を評価するJNCAP*の「予防安全性能アセスメント」において、先進安全車(ASV)を獲得。高い安全性能が評価されました。

*:国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)によって行われる自動車アセスメント(Japan New Car Assessment Program)の略称。

あなたの安心、未来ドライブ

「e-Assist」

事故の危険を検知してドライバーに知らせるとともに、
被害を回避・軽減できるようサポート。
できる限り事故被害を減らし、安全運転を続けてもらうために生まれた、
先進の予防安全技術です。

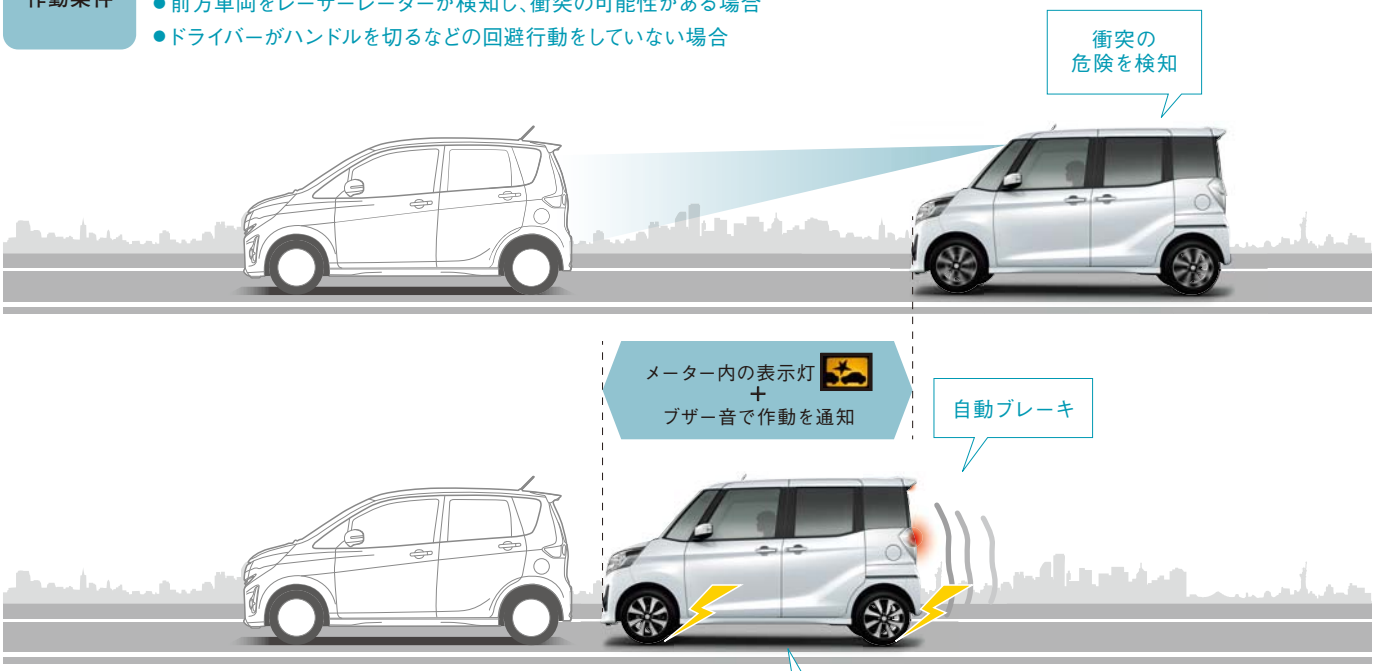
低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム
FCM-City
FCM=Forward Collision Mitigation system

●低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City](e-Assist付車)

低速走行時、前方車両との衝突の危険がある時は、警報で注意喚起するとともに
自動ブレーキで、衝突を回避、または衝突被害を軽減します。

作動条件

- 低速走行時(約5～約30km/h)
- 前方車両をレーザーレーダーが検知し、衝突の可能性がある場合
- ドライバーがハンドルを切るなどの回避行動をしていない場合



詳しくはコチラ

前方車両との速度差が約15km/h以下の場合は衝突を回避できることがあり、約30km/h以下の場合は衝突被害を軽減します。

レーザーレーダーがワイパー作動域にあるため、雨天時にもワイパーで払拭すれば作動します。

「FCM-City/誤発進抑制機能OFFスイッチ」で作動を停止することができます。

※低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City]作動時は強いブレーキがかかります。安全のため、全ての乗員が必ずシートベルトを着用していることを確認してください。
※停止保持機能がないため、停止後2秒以内でブレーキは解除されます。停止を続ける場合は、ブレーキを踏んでください。

⚠ ●対象物、交通(急な割り込みなど)、天候(雨・雪など)、道路状況(連続するカーブなど)などの条件によっては正常に作動しない場合があります。●前方車両に対して作動します。二輪車・歩行者などは作動対象ではありませんが、状況によっては作動する場合があります。●ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っている時は、作動しない場合があります。●ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、衝突被害を軽減することを目的としています。検知性能、制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。●ワイパーブレードの劣化などによりフロントウインドシールドガラスの汚れを払拭できない時、著しく天候が悪い時は、作動しない場合があります。●ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。●詳しくは営業スタッフにおたずねください。